

ウィン・ラスベガスがウィン・ソーラー施設をオープン

再生可能エネルギー比率はピーク電力需要の最大 75%に

ラスベガス 2018 年 6 月 5 日 PRNewswire

ウィン・ラスベガスは 2018 年 6 月 2 日（土）にウィン・ソーラー施設の操業を開始し、再生可能エネルギーの新たな指標を達成しました。新しい 160 エーカーの施設はリゾートの現在のピーク電力需要の 75%を賅っています。この再生可能エネルギー比率はラスベガスのリゾート施設中最大であり、ネバダ州のゲーミング事業者としては業界初の快挙となります。最終的に、この施設はラスベガスで最も環境に配慮した開発計画の 1 つとして、100%再生可能エネルギーによって電力が賅われる 2020 年 3 月に開業予定のリゾートの新たな会議やコンベンション施設の拡張のために使用されます。

ウィン・リゾートのチーフ・サステナビリティ・オフィサー、エリック・ハンセンは次のように述べています。「ネバダ州は再生可能エネルギーの開発において最もダイナミックな州です。ウィン・ソーラー施設の操業はリゾート業界にとって大きな岐路となるでしょう。再生可能エネルギーへの投資とエネルギー効率化策の統合は、責任ある企業が今日ビジネスを行う上で重要な意味を持ちます。私たちのソーラー施設は大規模なエネルギー効率化策を統合することによって、利益の向上と同時にゲスト体験の向上も実現できることを証明しています。」

エネル・グリーン・パワー・ノースアメリカ社が所有および運営するウィン・ソーラー・ファシリティは、ネバダ州ファロンを拠点とする独立した太陽光発電プロジェクトです。施設は地熱と太陽光のハイブリッド発電所として受賞歴を持つスティルウォーター・ハイブリッド施設に隣接し、既存のインフラを共有しています。ウィン・ソーラー施設は最大 27 MWdc（20MWac 相当）の再生可能エネルギー電力をリゾートに供給します。この再生可能エネルギー資源はウインのピーク電力需要の相当な割合を占め、ネバダ州の再生可能エネルギー利用割合基準をはるかに上回っています。

最近設置されたウインの屋上の 103,000 平方フィートの太陽光パネルと合わせると、5,056 世帯に電力を供給するのに十分な再生可能エネルギー電力が発電され、年間 33,734 トンの CO2 排出量が削減できます。現在マサチューセッツ州エバレットで建設中のアンコール・ボストン・ハーバー同様、ウィン・ラスベガスはラスベガスのプロジェクトにおいても持続可能なリゾート設計、再生可能エネルギーの活用と調達、LEED 認証ゴールドビルディング基準の達成に尽力してまいります。

ウィン・ラスベガスについて

ウィン・リゾーツは独立系ホテル企業としては世界最多となるフォーブス・トラベルガイドの5つ星を獲得しています。ウィン・ラスベガスはコンデナスト・トラベラー2018のゴールドリストでネバダ州の最高リゾートに選出されました。これは2005年4月28日の開業以来、10度目となります。ウィン&アンコール・ラスベガスは、2つの高級ホテルタワーに合計4,750の客室、スイートおよびヴィラ、約192,000平方フィートの広さを持つカジノ・スペース、有名シェフによる21のレストランや11のバー、受賞歴ある2つのスパ、290,000平方フィートの広さを持つ会議室、約110,000平方フィートの小売店舗スペース、3つのナイトクラブと1つのビーチクラブを備えています。2つの高級ブランドモールに加え、ラスベガス・ストリップに面するウィン・プラザを建設中で、2018年中に開業予定です。ウィン&アンコール・ラスベガスに関する詳細は、wynnpressroom.com にアクセス、または Twitter、Instagram、Facebook をフォローしてください。